

## 第4回日本音楽療法学会関東支部 都県別講習会（神奈川）開催のお知らせ

初秋の候、会員の皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第4回日本音楽療法学会関東支部都県別講習会（神奈川）は、下記の通り2012年度から連続して『臨床経験の伝え方』をテーマに行います。日々の臨床について伝え合う機会、またそのために知っておきたい「まとめ方」について学ぶ機会として企画いたしました。

午前の講義では、「関連職種の事例から学ぶ～視点とまとめ方」第2弾とし、言語聴覚士の先生に事例をご提示いただきながら、認知症、失語症、構音障害の区別や表記について、またアプローチの工夫についてお話いただきます。午後は、昨年度同様に会員の皆さんから未発表事例を募集し、症例報告検討会を行います。

今回は希望制のワークショップを企画いたしました。幅広い対象で応用可能な内容です。是非ご参加ください。

**症例報告検討会：**学会の認定音楽療法士の資格取得を目指している方、事例を書きたいと考えているがどうやってまとめて良いかわからず悩んでいる方、事例をまとめるにあたりサポートを受けたいが相談する人がいない方などが対象です。特に一人で現場を持っている方には、客観的にご自分の現場を振り返る意味でも、この機会に事例をまとめてみることをお勧めします。事例をまとめるにあたり、神奈川県がサポート体制を整えて発表までお手伝いします。この講習会で事例を発表してもポイントは付きませんが、学会や関東支部大会などで症例発表を目指す方には引き続きサポートします（これまで4名が全国大会等で発表されました）。

★応募の詳細は、関東支部ホームページに「応募要項」を掲載いたします。

日時：2015年10月25日（日）10：30～15：00（希望制ワークショップ～16：45）

会場：横浜市社技能文化会館 8階会議室（関内駅下車徒歩5分）

内容：10：30～12：00 講義「言語の障害をどう捉えてどうアプローチするか～音楽療法士の方に持ってほしい視点～」 講師 松元瑞枝（言語聴覚士、首都医校講師）

12：00～13：30 地域別交流・昼食（近隣の飲食店が少ないためできるだけ昼食をご持参ください）

13：30～15：00 症例報告検討会（会員による臨床現場の報告） 総括

15：15～16：45 ワークショップ（希望制）講師 田村加代子（看護師、NPO 認知症予防スリーA

よこはまかたつむりの会代表）※「スリーA」とは「あかるく あたまをつかって あきらめない」の頭文字「A」から命名。認知症予防・軽度認知症の方を対象とした脳の活性化訓練の活動です。音楽を使った活動も多く、音楽のもつ力を理解して取り入れることで音楽療法の活動もさらに広がると考えられます。

参加受付：9月1日より開始。定員（80名）に達し次第、締めきらせていただきます。

ワークショップは定員25名です（ワークショップのみのご参加はできません）。

会費：無料（前年度の支部会費を納入いただいている正会員、学生会員）※神奈川県登録会員を優先します。

1000円（上記以外の方） ワークショップは一律に別途500円 当日会場にてお支払いください。

受講証明書：資格認定・更新のポイント（講習会参加）がつきます。当日受講証明書を発行いたします。

なお、今回の症例報告には発表ポイントはつきません。

参加ご希望の方は、以下を明記の上 [kanagawa@jmta-kanto.jp](mailto:kanagawa@jmta-kanto.jp) 宛てにメールにてお申し込みください。

- ①氏名（フリガナ） ②参加枠：会員（会員番号）・一般・学生のいずれか ③ご住所 ④お電話番号 ⑤アドレス  
⑥ワークショップ参加ご希望の有無

※支部ホームページ <http://www.jmta-kanto.jp/index.html> の詳細/変更などを必ずご確認ください。